

## BRTひこぼしライン

### 燃料電池バス（FCバス）お披露目式が開催されました !!

令和5年11月15日（水）、令和5年8月に開業した「日田彦山線BRTひこぼしライン」での燃料電池バス（FCバス）の実証運転が、この秋に始まることを記念して「BRTひこぼしラインFCバスお披露目式」が開催されました。



お披露目式では、**服部誠太郎**福岡県知事の主催者挨拶が行われ、来賓として、**藏内勇夫**九州の自立を考える会会長と**香原勝司**福岡県議会議長が挨拶されました。

その後、テープカットが行われました。



服部誠太郎知事



藏内勇夫会長



香原勝司議長

### 【服部誠太郎知事：主催者挨拶】

今回のFCバスの実証運転ですが、これは水素を動力とする先進的なモビリティで、福岡県とJR九州、コマーシャル・ジャパンパートナーシップ・テクノロジーズ (CJPT) の3者で協力して導入するものです。

FCバスは走行時にCO<sub>2</sub>を排出しません。水素は2050年のカーボンニュートラル実現に向けてのキーテクノロジーと言われています。今年も、福岡県は7月の梅雨前線豪雨による大きな災害を被りました。近年世界的に異常気象、気候変動によって災害が激甚化、頻発化をいたしております。平成29年7月に大変な災害を被りました日田彦山線の沿線をFCバスが走り抜けることは、非常に象徴的な大きな意義を持つものです。同時に、このFCバスは、人の健康と動物の健康、地球の健全性を一体のものとして守っていく、これは今回の新型コロナというパンデミック、次なるパンデミックへの備えとも言われています。やはり地球環境が荒れてしまうことによって、野生動物が人間に近接をすることも生まれます。このようなワンヘルスの理念に基づき、「FUKUOKA ONE HEALTH」のロゴマークを（FCバスに）ラッピングしています。

今、日田彦山線の「BRTひこぼしライン」として復活し再開しましたので、地域の足として、ぜひこのFCバスにたくさんの皆様にご乗車をいただいて、そして未来の水素社会というものを体感していただきたいと思っています。

(一部抜粋)

### 【藏内勇夫九州の自立を考える会会長：来賓挨拶】

九州の自立を考える会は、九州の県境を越えて、九州が一つになって力をあわせて、日本の国を支えていこうとこういう考えを持った政策集団です。

これまで九州全体の観光戦略、あるいはエネルギー自給、最近では、「ワンヘルス、人と動物と地球の環境を守る」といったことを服部知事等に提言をしてきた団体です。

平成29年に日田彦山線が災害で大きな被害を受けました。これは福岡県と大分県と県境を越える被害であり、これは我々自立の会が取り組まなければならないということで、当時副知事でした服部知事に相談をし、議会でこれに取り組んでいこうという合意ができました。

その後、JR、関係者の方々の努力により、BRTで復旧することになりました。

すでに、それから新しいバス（BRT）の開通式にも行われました。

日田彦山線には、豊かな自然だけではなく、潜在力があり、すばらしい人たちがいます。そこに外部の人たちが入ってきて、そこで融合することにより、はじめてあの地域は大きく振興していきます。その中心的な役割を果たしていくのがこのバス（FCバス）です。

今月のはじめに、マレーシアのクチンでアジア獣医師会連合（FAVA）大会がありました。そこには水素バスが試験運転されているということで、バスに乗せてもらいました。

トヨタ自動車にも行きました。今回我々が見たトヨタの基幹工場では、水素燃料電池がつくられていました。展示されている製品は水素自動車でしたが、全てカーボンニュートラルのエネルギーを使うものが展示されています。私はまさしく世界のトヨタから大きく時代を先取りして進化しています。

ぜひ、このFCバスが、カーボンニュートラルの先例をつけてくれて、日田彦山線の地域の本当の復興につなげていただきたいと思います。

(一部抜粋)

### 【香原勝司福岡県会議長：来賓挨拶】

今回、このFCバスが走ることによって、間違いなく私たちは水素を身近に感じることができると思っています。

水素というものに触れることによって、地球環境、地球の健全性、いろんなことを学んでいくことになると思います。子ども達に、水素というものに触れていただき、このFCバスで多く機会が増えていけばいいなと思っています。

ワンヘルスということでは、人と動物、そして環境、しっかりこれらを守っていく上で、このFCバスも一つのモビリティとしてこれから必要になってくると思います。

我々県議会としても、水素というものに対して支援をしてみたいと思いますので、是非ともこのFCバスで「ひこぼしライン」をご活用いただき、FCバスを体感いただくことが一番であると思います。

我々県議会としても、しっかりと支援していくことをお約束させていただきます。

(一部抜粋)



服部誠太郎知事 古宮洋二 JR九州社長

藏内勇夫会長

中嶋裕樹 CJPT社長

2023年11月16日

福岡ワンヘルス協議会・事務局